

千利休屋敷跡の管理に関する協定書

一般財団法人今日庵（以下「甲」という。）は、堺市（以下「乙」という。）が設置する堺市立歴史文化にぎわいプラザ（以下「にぎわいプラザ」という。）の運営事業に協力して、甲が所有する千利休屋敷跡（堺市堺区宿院町西一丁１７－１）を開放するとともに、甲と乙及び〇〇〇（にぎわいプラザ指定管理者）（以下「丙」という。）は、千利休屋敷跡の開放にあたっての管理について、次のとおり協定書を締結する。

（趣旨）

第１条 この協定書は、甲が、乙及びにぎわいプラザの指定管理事業者として観光案内事業を行う丙と連携して、千利休屋敷跡（以下「屋敷跡」という。）を観光客等の来訪者に開放するための管理手続きを定めるものである。

（開放日時）

第２条 屋敷跡の開放日時は、丙が指定管理業務を行うにぎわいプラザの観光案内展示室の開館日時内とする。

（鍵等管理）

第３条 甲は、屋敷跡門扉の鍵の開錠・施錠を丙に委託するものとする。丙は、これを無償で受託するものとする。

（屋敷跡管理）

第４条 丙は善良なる管理者の注意をもって、本協定に基づき受託する屋敷跡の管理にあたるものとする。

２ 丙は、屋敷跡が来訪者の見学に支障がある又は来訪者に危害がおよぶ恐れがあると判断した場合には屋敷跡の開放を中止するとともに、直ちに甲及び乙に状況の説明を行い、指示を仰ぐものとする。

第５条 屋敷跡の施設に対して、来訪者等により損傷が加えられた場合や、屋敷跡の施設の瑕疵に起因する事故が発生した場合には、甲及び乙において対応を協議するものとする。

（協定期間）

第６条 本協定書の効力は、締結の日から１年間とする。ただし、期間満了の１か月前までに、甲乙丙いずれからも本協定書を解除する旨の意思表示がない限り、同一条件で継続するものとする。

（協議）

第７条 本協定書に記載のない事項及び本協定書の内容に疑義が生じた場合は、甲乙丙が互いに誠意をもって協議し、解決するものとする。

この協定書の締結を称するため、本書 3 通を作成し、甲乙丙記名押印の上、各自その 1 通を保有する。

令和〇〇年〇〇月〇〇日

甲 京都市上京区小川通寺の内上る本法寺前町
6 1 3 番地
一般財団法人今日庵
理事長

乙 堺市堺区南瓦町 3 番 1 号
堺市
堺市長 永藤 英機

丙